

虫賀六符は、羽島市出身で、医師として活躍。中国の旅順在職中、医業に専念する傍ら、画道にも精進し、独特な画風で多数の作品を残しています。

本展は、郷土館が所蔵する虫賀六符の作品30点を紹介し、郷土の先賢の美術品に対する関心を高めていただくことを願っています。

むし が ろ っ ぶ

虫賀六符 (1892～1984)

羽島市正木村に生まれ、本名は虫賀新(しん)と言います。

愛知医学専門学校(現 名古屋大学)を卒業し、医師として県立愛知病院に勤務しました。その後、中国に渡り奉天病院、撫順満鉄病院、旅順出順所などに勤務。

帰国後、羽島市の自宅で開業しました。まもなく笠松にある松波病院に勤務しましたが、辞職後は自宅で再度開業。80歳で診療をやめるまで、地域医療に貢献しました。

中国の旅順在職中、中国の画家「半丁陳年」に師事。医業に専念する傍ら画道に精進し、「一峯」「四医六濃人」「六符」の雅号を使い、独特な画風とユニークな感覚で多くの人々から親しまれ、92歳で亡くなるまで画筆をはなすことなく、多数の作品を残しました。



在りし日の六符氏(昭和55年8月24日撮影)

作品介绍 (郷土美術室内)

	18	17	16	15	
20	No. 1	軸	富士山		14
	No. 2	軸	雀(三羽)		
	No. 3	軸	雀(五羽)		
21	No. 4	軸	雀(三羽)		13
	No. 5	軸	金魚(赤二匹)		
	No. 6	軸	紅梅		
22	No. 7	軸	金魚(黒二匹、赤一匹)		12
	No. 8	軸	山水図		
	No. 9	軸	梅		
23	No. 10	軸	群錦之図(黒三匹、赤三匹)		11
	No. 11	軸	柿の図		
	No. 12	軸	椿の図		
24	No. 13	軸	紅梅の図		10
	No. 14	軸	藤の図		
	No. 15	額	雀(五羽)		
25	No. 16	額	金魚(赤一匹)		9
	No. 17	額	金魚(赤二匹)		
	No. 18	額	金魚(黒二匹)		
26	No. 19	額	金魚(赤二匹)		8
	No. 20	額	金魚(赤一匹)		
	No. 21	額	金魚(赤二匹)		
27	No. 22	額	金魚(黒二匹)		7
	No. 23	額	金魚(赤二匹)		
	No. 24	額	金魚(赤一匹)		
28	No. 25	額	金魚(黒二匹)		6
	No. 26	額	金魚(黒三匹)		
	No. 27	額	金魚(赤三匹)		
29	No. 28	額	金魚(黒五匹)		5
	No. 29	額	山高水長		
	No. 30	額	柿に雀		
	入口				
	1	2	3	4	

虫賀六符 略歴	
1892年(明治 25)	正木町森(現 羽島市)に生まれる 本名 新(しん)
1908年(明治 41)	正木尋常高等小学校卒業
1917年(大正 6)	愛知医学専門学校卒業(現 名古屋大学) 愛知県立愛知病院産婦人科に勤務
1918年(大正 7)	日本赤十字社奉天病院医員に命ぜられ渡満する 動員召集を受け、森山歩兵第 33 聯隊に入隊、3ヶ月にして召集解除となり、再び奉天病院に復職
1920年(大正 9)	撫順満鉄病院臨時医員を命ぜられる 関東庁病院附属新旅順出診所長に命ぜられ、旅順工科学堂校医
1921年(大正 10)	旅順中学校、旅順高等女学校、旅順師範学堂堂校医を嘱託
1922年(大正 11)	旅順警察署医務を嘱託
1923年(大正 12)	南満州鉄道株式会社鄭家屯公医 中国四洮鉄路局嘱託医を命ぜられる 四洮鉄道(四平街と洮南を結ぶ)布設工事従業 中国人診療に従事する
1926年(大正 15)	帰国し、自宅で開業
1956年(昭和 31)	笠松町松波病院へ勤務
1969年(昭和 44)	松波病院を辞し、自宅開業

2016
5.28 ▶ 7.3
土曜日 日曜日

開館時間：9時～17時(入場は16時30分まで)
休館日：毎週火曜日
入館料：一般100円、高校生以下無料
開催場所：1階 郷土美術室

大垣市郷土館

〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2丁目4
TEL・FAX: 0584-75-1231
<http://www.2.og-bunka.or.jp/bunka/manage/kyoudo.html>
主催：公益財団法人 大垣市文化事業団(大垣市指定管理事業)

